

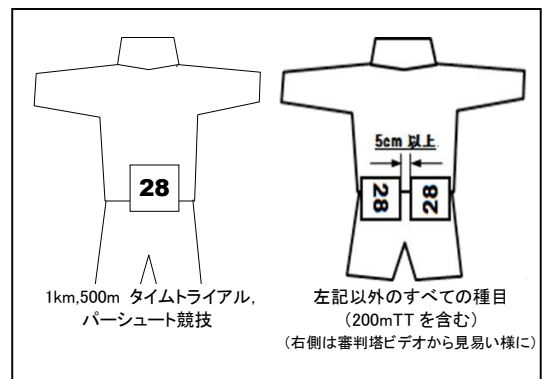


第56回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会

平成 27 年 7 月 4 日(土)～5 日(日) 静岡県伊豆市大野 日本 CSC・伊豆ペロドローム (周長 250mバンク)
 主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: 公益財団法人日本自転車競技連盟
 協賛: 公益財団法人 JKA 一般社団法人日本競輪選手会 社団法人全国競輪施行者協議会
 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社

Communiqué No.3
 チーフコミッサー 倉田 達樹

1. 空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため(圧迫、引張、支持)の、付加的な衣類または物は禁じる。また、屋内トラックにおける競技ではシューズカバーの使用は禁止される。(2015JCF 規則第 8 条 6 項)
2. トラック上にいる間は、競技者は常に自転車をしっかりとコントロール下におき、ハンドル(あるいは延長部)上に少なくとも片手を置いていなければならない。これに違反した競技者には警告を与える。(2015JCF 規則第 63 条)
3. タンデム・スプリント
 - 予選は、6 周を周回する内の最後の 1 周(250m)を計時する。
 - 対戦に入ってから、競技規則に従い、6 周回で行う。
 - 5-8 位決定予選、7-8 位決定戦、5-6 位決定戦は、1 回戦制で行う。
4. 男子ポイントレース
 - 予選 2 組、各組上位 12 名が決勝に進出する。
5. 男子スクラッチ
 - 予選 3 組、各組上位 7 名が決勝に進出する。
6. ケイリン
 - 準決勝から各組上位 3 名が決勝へ、下位 3 名は 7～12 位決定戦に進出する。
7. マディソン
 - 距離 30 km(120 周)で行う。
 - ポイントは 20 周毎(スプリントはフィニッシュを含め 6 回)
 - 最終スプリントも中間スプリントも得点は同じ(5、3、2、1 点)
 - 順位決定の優先順位は、1.周回数、2.得点、3.最終着順
 - 本大会では、メイン集団から 2 周回遅れたチームは原則として除外する。(DNF)
 - マディソン専用ゼッケン(出走番号と同番号の黒赤)を使用のこと。
 - 1 校 2 チーム参加する学校は、異なる組が識別し易いようにすること。
(例:「長袖の組」と「半袖の組」、左側の袖口にテープ等でマークする)
8. 表彰式
 - チームユニフォーム着用のこと。サングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止する【重要】。
9. ゼッケンについて
 - レース終了後に、チーム単位でまとめて大会本部へ返却すること。
 - 紛失、未返却は 1,000 円のペナルティーとする。
 - ゼッケンをつける際の安全ピンは各校で用意すること。
 - ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)
 - ポイントレース、マディソンでは、専用のゼッケンとフレームプレートを使用のこと。フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せること。
10. ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着のこと。また、安全のため滑らない様にハンドルバーにはバーテープを巻くこと。



この自転車競技大会は、「競輪公益資金」の補助を受けて開催するものです。

<http://jicf.info/> または <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/> (レース結果は HP へ)